



2007年3月27日
号 外(戸倉多香子
活動特集号vol.5)
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活維新

「私たちひとりひとりが声をあげれば 変えることができる」と訴えています。

民主党山口県参議院選挙区第1総支部の戸倉多香子代表は、「民主党がんばれ!」との力強いご声援に感動し、車から手を振ってくださる方々の多さに驚き、励まされながら、街頭で政権交代の必要性を訴えています。ひとりひとりが声をあげれば、必ず変えることができる と話す戸倉代表のメッセージを、民主党山口県参議院選挙区第1総支部のホームページよりご紹介します。



ホームページアドレスは、<http://www.tokuratakako.jp/>

★ こんにちは! 戸倉多香子です。

私は、これまで自分の暮らす街の問題にこだわって活動してまいりました。それは、私の暮らしが少しでも便利であってほしい、毎日の生活は明るく楽しく送りたい。そんな素朴な願いからです。

政治とは遠い世界のことだと思ってきました。市町村合併後のまちづくりを話し合うフォーラムを主催した時も、市議会解散を目指して署名運動に取り組んだ時も、市民活動の延長だと思っていました。でも、これらすべてが“政治”なのだ気づいたのは最近のことです。民主党は『政治とは生活だ』と主張していますが、まさに、私たちの生活はすべて政治につながっているのですね。

議会解散運動の時、おかしいことはおかしい と私たちが声をあげれば変わるんだという経験しました。それは、一地域だからできたことだ、とは思えません。国のことも、私たち国民が声をあげれば、きっと動かすことができます。そう信じています。ひとつの地域の出来事が全国に連鎖することは、東かがわ市、周南市と続いた議会解散運動が、あっという間に全国にひろがっていったことが証明しています。

今の日本は大丈夫だろうかと心配している方々は、確実に増えています。

いざなぎ景気以来の好景気と言われる日本で、働いても働いても、こんなに生活が苦しいのはおかしくないですか?

国民のためと言いながら、一部の強い者たちだけが得をする改革がすすめられていませんか?

本来、統治権力から国民を守るための憲法を総理大臣が変えようとしています。私たち国民は、知らないうちに、私たちを守るべき憲法さえも奪われようとしていませんか?

仮に憲法の改正が必要だと考える人が多い場合でも、今のナショナリズムをあおる政治家のもとで、すべての国民に正しい情報があたえられるでしょうか? 過去のタウンミーティングをふり返ってみても疑ってしまいます。

そんな不安な毎日も、私たちひとりひとりが声をあげれば、変えることができます。私は、多くの国民は、美しさより平和を大切にしたいと考えていると思います。友人のひとりは、「大事な家族や友人たちと、一日一日を大切にしてお互いに過ごすこと。」が、私たちおばさんの願いだと言いました。こんな小さな願いさえ、“ぜいたく”だと感じる日本にしないために、今ならまだ間に合います。私たちが声をあげましょう。ひとりひとりの声は小さくても、集まれば必ず、大きな力になれると信じています。さあ、みんなでがんばりましょう!(以上、<http://www.tokuratakako.jp/message.html> より引用)

ポスターや看板の設置にご協力を

民主党山口県参議院選挙区第1総支部では、看板やポスターを設置できる場所を探しています。ご協力いただける方は、事務所までお知らせください。



↑看板



↑ポスター



ご連絡はこちらへ

周南市梅園町2丁目52-3
TEL(0834)32-6071
FAX(0834)32-6072



★とくらたかこについて

民主党山口県参議院選挙区第1総支部では7月の参議院選挙にむけて、多くの皆様に民主党の政策や方針をご理解いただけますよう日々活動しています。

潮流

07統一地方選

①

自転車で路地裏をゆくり走る。お年寄りとすれ違えば、立ち止まって雑談。自転車に立てたのぼりには「団塊ネット」と書かれている。
4月の福岡県春日市議選に向けた中島秀喜さん(56)の政治活動だ。
05年9月、金融関連会社をリストラされた。ハローワークに通う傍ら、市主催の「まちづくり塾」に参加。会社のよう

【プロフィール】

- 1959年 山口県周南市櫛ヶ浜に生まれる
- 1972年 徳山市立櫛ヶ浜小学校 卒業
- 1975年 徳山市立太華中学校 卒業
- 1978年 山口県立徳山高等学校普通科 卒業
(ハンドボール部所属・インターハイ出場)
- 1980年 図書館短期大学(現在:筑波大学) 卒業
- 現在 周南市在住 夫・子供・夫の母の6人家族

【活動歴】

周南ねっと 代表

中心市街地活性化や市民参画に取り組むまちづくりグループで、徳山商店街の古いビル再生アイデアのコンペ、徳山駅ビルミニ FM 局開局、まちづくりミーティングやパネルディスカッションを主催するなど、市民参加によるまちづくりを目指す活動を続けてきた。市町村合併後のまちづくりを考えるフォーラム等も主催。

徳山市インパク出展実行委員会委員長

二千年紀を記念して国が主催したインターネット博覧会(インパク)へ、市町村として参加することを徳山市へ提言。自ら実行委員長となり、ボランティア市民によるホームページ運営を実現。テーマは「ふぐの魅力と地域文化」。徳山市の特産である給島産とらふぐのPRにも貢献した。政令指定都市以外でインパクに参加した市町村は5市だけ。市民参画による政策実現の問題点も実感することとなる。

山口県男女共同参画審議会委員

周南市まちづくり基本計画審議会委員 等々

周南のよあけを導く会 代表(現在活動休眠中)

平成の大合併において全国でまきおこった議会解散運動としては、東かがわ市に続き2例目の住民運動を率いる。全国の合併協議(在任特例等)にも影響を及ぼすこととなる。

「引き継ぐ」と思い、
「団塊世代を地方議会に送るネットワーク」(東京)に推薦を願いだした。
同ネットは昨年11月、統一地方選に団塊世代を

団塊・若者・主婦

脱しがらみ 市民派勢い

送り込もうと地方議員や市民団体などが結成。全国の首長選や議員選で40人を推薦する。野田博・共同代表(59)は「団塊世代にはこんな社会にするつもりはなかった。若い聴衆が少ないの

を残念に思っていたところ、その仲間ら20代の3人が世代交代を掲げて今回の熊本市議選に挑むことを知った。自分も加われば、若者の政治参加への意識がさらに高まるのではないかと、大阪の会社に就職して

一度壊し、そこから新しいものをつくりたい」「い」と発信していたら、民主党から声がかかった。人を束ねて目標達成に向かう市民運動は政治と同じではないか、と決意した。「民主公認は反自民の選択肢の一つ。立場は無党派」という。合併で肥大化した議会に対するリコール運動は全国に広がる。原発など個別の政策的課題に比べて敷居が低く、多数の賛同者が集まる。さらに、実際に議会を変えたいという成果が得られている。「多くの人が成功体験を持った。行政が変たなと思つたらすぐ行動できるはず」。それが統一地

同年代の若者に触発され、熊本市議選への立候補を決意した。
学生時代から、選挙があるたびに候補者討論会を開く活動を手伝ってきた。若い聴衆が少ないの

「お手本」とされる。中心になった市民団体の代表、主婦の戸倉多香子さん(47)は今夏の参院選山口選挙区に挑む。郵政民営化に反対し、プログで「今の国政はおかし

教育関係の広告制作に携わるうち、「教育の制度を作る側に回りたい」と思い始めた。補助金不正受給など市議員の不祥事が続く現状にも憤る。「若い力とは『破壊力』

00年に「女性を議会に無党派・市民派ネットワーク」を結成した元岐阜県高富町議の寺町みどりさん(55)は「市民派と呼ばれる議員はここ10年で急増した」という。当初は2、3人だった同ネット会員の地方議員も10人以上になった。その理由を「いろんなしがらみを抱えた議員への視線が厳しくなり、政策本位の選挙が目目されるようになったのではな